
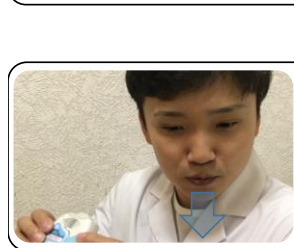

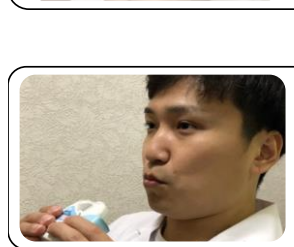
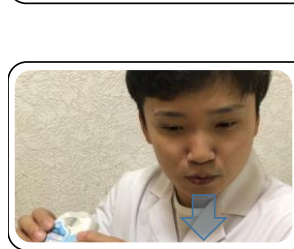

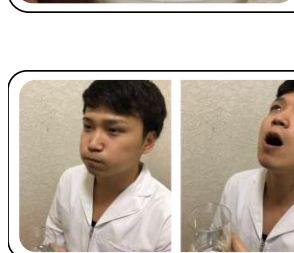


エリプタ:各部位の名称



エリプタ(薬品名:レルベア、アノーロ、アニューティ、エンクラッセ、テリルジー)

	<h3>1.薬の準備</h3> <ul style="list-style-type: none">・カウンターを手前にしてカバーを右下にスライドさせます。・カチッと音がすればきちんとスライドできています。	<ul style="list-style-type: none">・スライドさせて、カウンター残量が1つ減ったことを確認します。
	<h3>2.息吐き</h3> <ul style="list-style-type: none">・無理をしない程度に「フーッ」と十分に息を吐き出します。※吸入口には息を吹きかけないでください。	<ul style="list-style-type: none">・息吐きを行わないと、吸入が十分にできません。
	<h3>3.吸入</h3> <ul style="list-style-type: none">・吸入口全体をしっかりとくわえ少し上むきで、強く深く「スーッ」と吸い込みます。	<ul style="list-style-type: none">・吸入口のくわえすぎや、指で通気孔を塞がないように注意してください。・吸入ができていると、わずかな甘みや粉感を感じます。感じない場合は、カバーを動かさずに2～5を行います。
	<h3>4.息止め</h3> <ul style="list-style-type: none">・吸入口から口を離し、苦しくない程度(5秒程)息を止めます。	<ul style="list-style-type: none">・薬剤を気管支から肺まで効率よく吸収させる(肺内沈着率を上げる)ために、息止めが必要です。・息止めが難しい患者でも、意識的に一瞬でも息をこらえることが重要です。
	<h3>5.息吐き</h3> <ul style="list-style-type: none">・ゆっくりと息を吐き出してください。※吸入口には息を吹きかけないでください。	
	<h3>6.後片付け</h3> <ul style="list-style-type: none">・吸入後はカバーをします。	<ul style="list-style-type: none">・カバーをする前に、吸入口をティッシュなどで拭くことで清潔に保てます。
	<h3>7.うがい</h3> <ul style="list-style-type: none">・のどと口の中に薬剤が残らないように、口ゆすぎと、ガラガラのうがいを3回程度行ってください。	<ul style="list-style-type: none">・必要な分の薬は吸入した時点で浸透しているのですぐにうがいをして問題ありません。・うがいをきちんと行うことによって、吸入ステロイドによる、口腔内カンジダや嚔声などの副作用の発現を防止します。

Q&A: よくあるお問合せ

Q: どれくらいカバーを開けると、薬が装填されますか？

A: カウンターを半分以上開けたところから内部のプリスターが開き、粉が出始めます。

また、その段階でカウンターが徐々に動き出します。

カバーを完全に開けずに、吸入せずに閉じてしまった場合はその分は吸湿している可能性があるため、吸入しないでください。

Q: カバーを開けるときに重さ(抵抗)を感じることや、きしみ音がすることがありますが、故障ですか？

A: 吸入器の内部で薬がセットされているときの音であり、故障ではありません。

Q: エリプタの薬剤充填は、立てて(吸入口を上にして)行うべきですか、水平に保って行うべきですか？

A: エリプタは、逆さ(吸入口を下)にしない限りは正常に薬剤が装填されます。

Q: エリプタを床に落としてしまい、強い衝撃を与えてしまった時、引き続き使用しても大丈夫ですか？

A: 内部には多くのプラスチック部品が入っているため、落下衝撃により部品に影響がないとは言えません。

1回分の薬剤が無駄になってしまいますが、カバー操作後、吸入口を下にしてテーブルに置いた紙(できれば黒い紙)の上でトントンと叩いて、薬剤の出ることが確認できれば使用可能と考えられます。

Q: エリプタを水に落としてしまった場合、使用できますか？

A: エリプタの通気口の下には、薬剤を吸入の気流により混合させる箇所があります。

この部分の構造が複雑なため、入り込んだ水分を除去することは困難です。

また、この部分に水分がかかると開封された薬剤が吸湿したり、固結する可能性があり、正しく吸入できなくなりますので、水没も含め、内部に液体が入ってしまった場合は、使用しないでください。